

# The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2009年5月号 通巻5号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2009

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## タヌキが食べた人間由来物

自然のものも生ゴミも食べています



[左]ビニールラップ

[右上]ピーナッツ

[右下]ブドウの種

フンの採集は2008年9月、杉並区。定規の目盛はいずれも1mm。ちなみに2009年3月号で紹介したケラの脚も同じためフンから出てきた物。写真のピーナッツのように、フンの中では変色してしまうことはよくある。フンの内容物は乾燥して保存をしてある。そうしないと長期保存が難しいからだ、中には干からびて原形をとどめないこともある。

タヌキは雑食性で、動物も植物も食べます。そして都会のタヌキは生ゴミなども食べています。生ゴミのような人間に由来する食べ物を私は「人間由来物」と呼んでいます。書籍「タヌキたちのびっくり東京生活」では、私自身が分析したタヌキのフンの内容物を紹介していますが、サンプル数が少なく人間由来物はありませんでした。

### フンから出てきたモノ

昨年秋以降、幸運にも数ヶ月にわたってフンの採集ができ、さらに多くのサンプルを得ることができました。その中には人間由来物もありました。今回はそのいくつかを紹介しましょう。

今回取り上げるのは、いずれも同じためフンから同時に採集したフンの中から出てきたものです。フンの内容物はフンを水に溶かしながら取り出していきますが、なにやら大きなモノがすぐに現れました。明らか

に人工物で、とても薄いものです。慎重に広げていくと透明のビニール製だとわかりました。厚さから推測するとビニールラップのようです[写真左]。同じような大きな断片が他に2つ、小さな断片もいくつか出てきました。これは明らかに生ゴミをあさっている時に食べたものでしょう。

さらに作業を続けると別の大きなモノが現れました[写真右上]。変色はしていますが、これは明らかにピーナッツです！ このフンはどうも「当たり」だったようで、さらに肉眼でわかるモノが出てきました[写真右下]。これまた明らかにブドウの種です。大きさからすると巨峰でしょうか。

現場は住宅地で、近くにはブドウ畑もピーナッツ畑もありません。ですからこれらも生ゴミだったと推測できます。しかしまた別の推理もできます。家の庭に現れたタヌキにびっくりした住民が、手近にあった食べ物を放り投げてやった…という

可能性も考えられるのです。ピーナッツがゴミとして捨てられることは少ないだろうということを考えての推理です。

### 未解明の「食物問題」

東京タヌキたちがどれほど人間由来物に依存しているのかは今も未解明の問題です。食べた物のほとんどは消化されて形を失い、消化されにくいものだけが残るからです。そんな数少ない手がかりを元にタヌキの食生活の解明は進められるのです。どこかにためフンの情報はないか…と私は今日も情報を待つのです。

## スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>